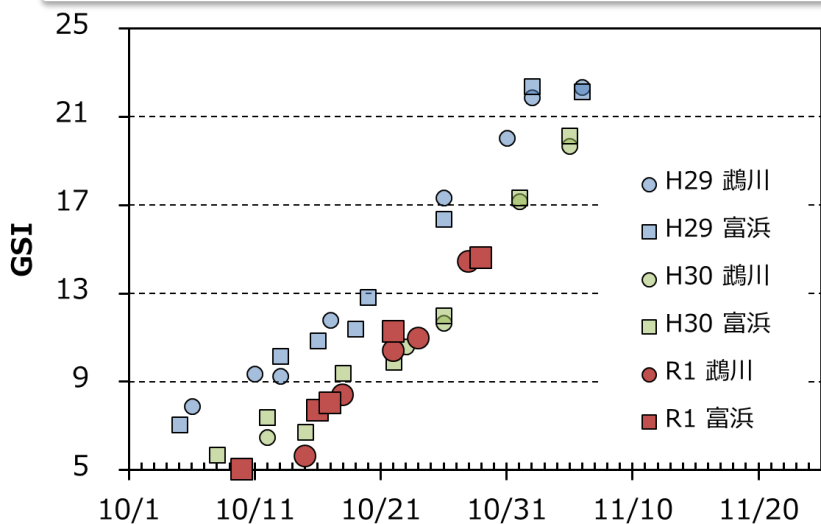


① シシャモの成熟の進行について (10/29現在)



10月29日までのメスの
GSI (卵巣重量÷体重×100) の上昇は、例年より遅いペースだったH30年と同じペースで推移しています。このまま成熟が進行すると、河川への遡上開始時期は昨年の遡上開始予測日(11月7日)に近いと予測されます。

図1 シシャモ雌の生殖腺重量指数 (GSI) の変化

② シシャモの体長組成・未成魚の割合について

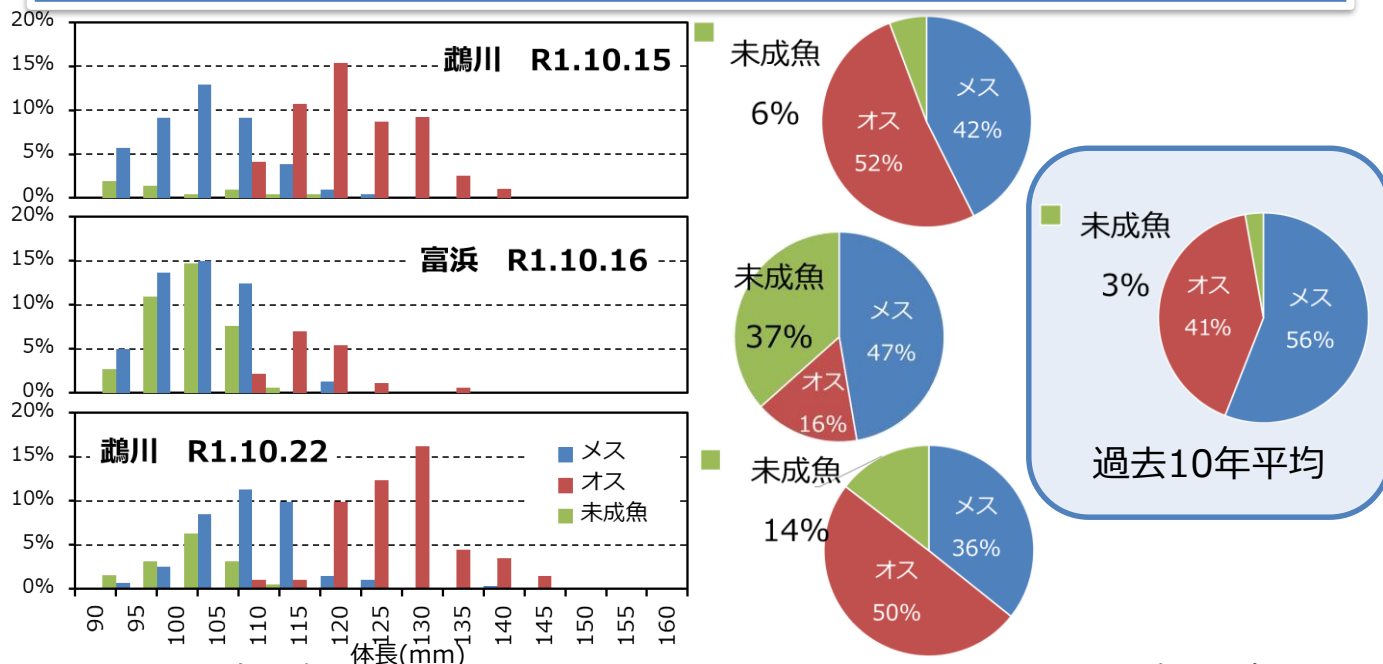


図2 鶴川漁協におけるシシャモ無選別標本の体長組成と未成魚の割合

10月22日の漁獲物の体長は1週間前に比べると、オス、メスともにモード(中心サイズ)が5~10mm大きくなりました。耳石による年齢査定の結果、メスはほとんどが1歳ですが、オスは1~2割が2歳(前年の生き残り)です。今年は例年に比べ、**未成魚(来年以降成熟)の割合が高い傾向**が見られます。

③ ししゃもこぎ網漁獲状況について（10/27・29現在）

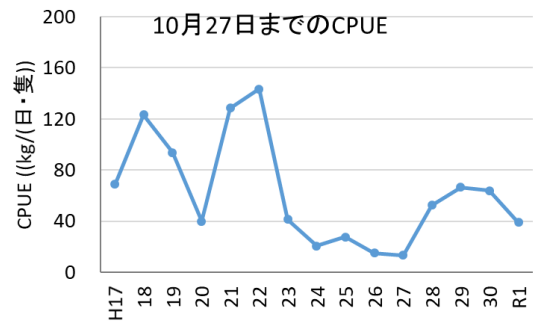
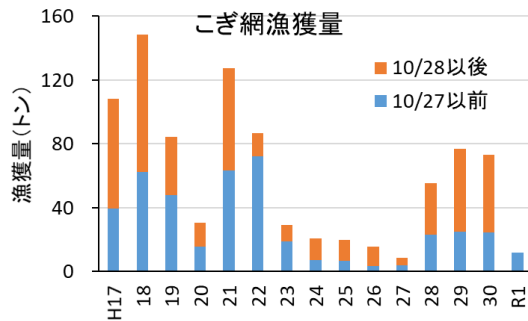


図3 胆振管内ししゃもこぎ網漁業漁獲量とCPUE（1日1隻あたりの漁獲量）

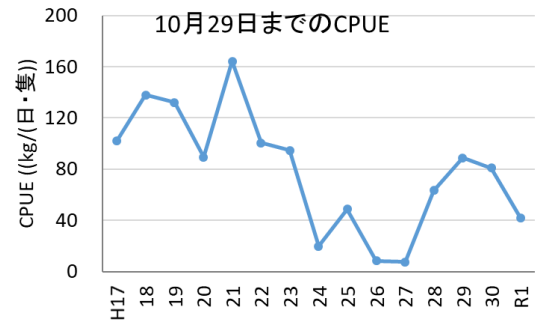
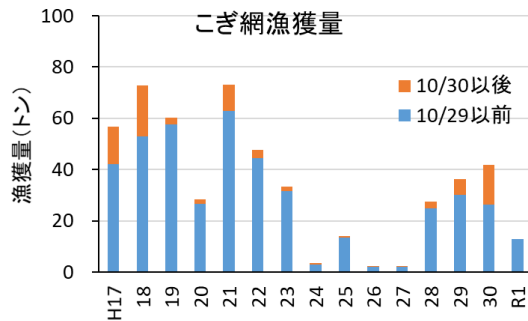


図4 日高管内ししゃもこぎ網漁業漁獲量とCPUE（1日1隻あたりの漁獲量）

現在までのししゃもこぎ網漁獲量は、昨年同時期と比べて半分以下となっています。CPUE（1日1隻あたりの漁獲量）は、昨年よりは低い値となっていますが、漁が振るわなかったH24～27よりは概ね高い状況となっています。

今年度は11月初めに、シシャモの河川への遡上予測日を発表する予定です。